

COPD 患者における 6MWT と当院患者の 経過に関する考察

1. 研究の背景

平成 30 年度の診療報酬改訂に伴い、6 分間歩行試験（以下 6MWT）は医師、看護師、臨床検査技師に加えて、理学療法士の評価が可能となった。当院の慢性閉塞性肺疾患（以下 COPD）患者には、重症度の高い症例が多く、1 年以内に再入院を繰り返すケースを認めている。そのような症例では、入院する毎に重症化し、呼吸機能の低下を来すために、在宅生活が困難になるケースも少なくない。

近年では 6MWT の歩行距離と呼吸機能等のデータから重症度を割り出す BODEIndex や Heart rate recovery（HRR）が患者の生命予後に関与していることが、諸家より報告されている。そこで、当院の COPD 患者において、過去の 6MWT の結果から歩行距離や HRR、BODEIndex などを用いて、再入院する症例の特徴を理解することで、適切に予後予測を行い、患者の療養指導に生かすことが必要であると考えた。

2. 研究の目的

COPD 患者の再入院を繰り返す症例と、予後が良好な症例を比較することにより、増悪因子の検討を行うとともに特性を把握する。

3. 研究の詳細

(1) 研究の方法

平成 24 年 4 月～平成 30 年 4 月当院に入院した、COPD 急性増悪患者を対象として、一年以内に再入院した群と再入院のなかった群の 2 群に分類。診療カルテや 6MWT のデータを基に、2 群間で比較検討をすることとした。

(2) 倫理的配慮

倫理的配慮に関してはヘルシンキ宣言に則り、研究実施に係るデータ類を取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮する。研究結果を公表する際は、被験者を特定できるデータを含まないようにする。データは研究実施者が厳重に管理する。

4. 目標症例数と研究期間

(1) 目標症例数：15 例(再入院あり群 5 例 再入院なし群 10 例)

(2) 研究期間：承認日～令和元年 11 月 30 日

5. 研究責任者連絡先

研究責任者 理学療法士 成宮久詞

研究分担者 医師 渡辺和良

TEL 076-252-2200(内線 2262)